

平成29年度第2回 鹿児島市地域情報化推進委員会 会議録

日 時 : 平成29年8月28日(月) 10:05~10:57

場 所 : 東別館9階特別中会議室

出席者 : (推進委員会委員) 出席10名 ※別紙のとおり

(事務局) 総務部長、情報システム課長、IT推進係長、担当者

会次第 : 1 開会

2 協議

(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画の総括案について

(2) 次期鹿児島市地域情報化計画の骨子案について

3 閉会

議事概要 : 以下のとおり

発言者	発言内容
【協議(1)】第三次鹿児島市地域情報化計画の総括案について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「資料1」に基づき説明
<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p>	<p style="text-align: center;">意見・質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会において、公衆無線LAN設置箇所は市内各所に広げる方向で検討してもらいたいとしていたが、「観光バス・観光電車への公衆無線LAN整備」については、28年度に定期観光バス3両と観光電車1両に設置を行い今後の予定はないため終了とのことであるが、本市は観光都市を標榜していることから、今後も継続する方向で検討していただきたい。なお、観光バス・観光電車だけでなく、桜島フェリーやサクラジマアイランドビューも含めて検討してほしい。 ・桜島フェリー1隻には既に設置しているが、観光バス・観光電車等への整備を拡充することについては、関係部署にお伝えする。 ・「インターネットの安全利用に関する啓発」について、時代に合った利用方法を啓発する必要があることから、継続していただきたい。 ・「インターネットの安全利用に関する啓発」については、次期計画においても「情報教育の充実」の取組の中で、インターネットの安全利用に関する啓発も合わせて行うこととしており、取組は引き続き行っていく予定である。 ・市ホームページの閲覧のため、市役所庁内にも公衆無線LANがあったほうがよい。 ・庁舎内には公衆無線LANは設置していないが、ホームページを閲覧いただく必要がある方の相談に対しては、市民相談センターにおいてタブレット端末を活用して対応しているところである。 ・市電・市バスへの公衆無線LANの整備については、これまでも当委員会において整備すべきとの意見が出されていることから、今後の対応について整理し、その考えを資料に残していただきたい。
【協議(2)】次期鹿児島市地域情報化計画の骨子案について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「資料2」「資料3」に基づき説明

発言者	発言内容
	意見・質疑応答
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2の課題3にあるウイルスの感染については、あくまでも個人のリテラシーの問題であり、どちらかというとな課題2に入るのではないかと。 ・それを受けて、基本方針①の「市民生活を安心・安全で豊かにするためのICT利活用」と④の「ICTリテラシー向上とデジタルデバイド対策」については、表現の問題かもしれないが、区分がはっきりしていないように感じる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクには、個人のリスクと社会のリスクがある。行政としては、2つのリスクを分けて考えたほうがよい。 ・リスクで一括りにしないやり方、もしくは、それぞれのアクションプランにおいて、個人と社会・防災に分けるやり方を考えたほうがよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・台風や地震発生時の情報発信について、台風によるイベントの中止情報等はよくまとまっているように思うが、地震の被害情報についてはあまり届いてこなかった。被害がなかったときは、安全が確認できた旨の情報をしっかりと発信することも必要。 ・災害時等に嘘の情報がSNSで拡散していくことに対して、鹿児島市がオフィシャルに当該情報が嘘である旨の情報を発信できる体制が必要である。また、そういった情報を監視できる体制も必要である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後に向けて、災害時の被害状況の情報発信について、広報の更なる工夫や充実を図るべきとのご意見として承る。また、嘘の情報に対する対策については、国の動向等も踏まえ、関係部署と協議してまいりたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が氾濫している状況下において、行政からのオフィシャルな情報は益々重要になってきている。特に、防災情報については、オフィシャルな情報の位置付けを明確にしたほうがよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策から漏れそうなところを拾い上げ、それぞれの部署につないでいく役割が、地域情報化のためには必要では。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・関連するアクションプラン同士を結節するアクションプランが一つあると分かりやすくなる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや高齢者対策の推進も必要。具体的にはどのようなことに力を入れているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画においては、No.35からNo.38の具体策が、子育て関係・高齢者福祉関係であるが、No.35の「子育て支援情報サイトの構築」とNo.37の「高齢者いきいき元気塾におけるICT基礎講座の実施」については、次期計画においても引き続き取り組むものとして検討を行っている。それ以外にも、新しい計画に掲載する具体策については、今後検討していく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子供がネット上の犯罪等に巻き込まれないようにする対策も重要である。

平成29年度第2回 鹿児島市地域情報化推進委員会 名簿

No.	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	ハギノ マコト 萩野 誠	鹿児島大学法文学部	教授	
2	副委員長	モリ クニヒロ 森 邦彦	鹿児島大学 学術情報基盤センター	センター長	
3	委員	カイ カオル 甲斐 薫	特定非営利活動法人 鹿児島インフォメーション	会員	
4	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS鹿児島情報専門学校	講師	
5	委員	カシワギ リサ 柏木 梨沙	公募委員		
6	委員	トクナガ アリサ 徳永 麻里紗	公益社団法人鹿児島青年会議所	国際室長	
7	委員	ナカゾノ シンゴ 中園 信吾	公募委員		
8	委員	フキドメ ヒロミ 吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役社長	
9	委員	ホリエ ジュンジ 堀江 順司	日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査課長	
10	委員	マツモト まや 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	

※50 音順(敬称略)